

資料番号	6
------	---

令和5年8月18日
課名 土木建築局河川課
担当者 課長 水頭
内線 3928

「ひろしま川づくり実施計画 2021」の進捗状況について

1 要旨・目的

「ひろしま川づくり実施計画 2021（以下、「計画」という）」に掲げる成果目標等の進捗状況について、総点検を行ったので、その結果を報告する。

2 現状・背景

社会資本未来プランの関連計画として、本計画を令和3年3月に策定（計画期間：令和3年度～令和7年度）し、計画的に事業を推進している。

この度、計画策定から2年が経過したことから、進捗状況の取りまとめを行うとともに、進捗状況を踏まえた今後の見通しも含めて報告するものである。

3 概要

(1) 対象者

県民

(2) 事業内容（実施内容）

ア 事業量確保の状況

投資額については、国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」など有利な財源を最大限活用しながら事業量の確保に努め、計画期間（令和3年度～令和7年度）の投資予定額約470億円に対し、令和5年度当初予算までの実績は328億円となっている。

イ 事業実施状況（令和5年7月末時点）

計画箇所数86箇所のうち、84箇所で事業に着手しており、このうち、完成・部分箇所については、計画している29箇所に対して、完成が7箇所、部分完成が3箇所となっている。

区分	計画箇所数（R3～R7）				事業化箇所数		
	完成	部分完成	継続	計	うち完成	うち部分完成	
河川改修	13	13	52	78	76	6	3
高潮対策	2	-	3	5	5	0	0
浸透対策	1	-	2	3	3	1	0
合計	16	13	57	86	84	7	3

※事業化箇所数には、調査設計などに着手している箇所を含む。

ウ 主な新規着手箇所（R3～R5）

区分	路河川名等	箇所・地区名	市町名
河川改修	奥迫川	広島市安佐北区	広島市
高潮対策	藤井川	福山市南今津町	福山市
浸透対策	沼田川	三原市本郷町・沼田東町	三原市

エ 主な完成箇所

区分	路河川名等	箇所・地区名	市町名
河川改修	野呂川	呉市安浦町	呉市
	手城川	福山市東手城町～春日町	福山市
	沼田川	三原市新倉町～本郷町	三原市
	大谷川	三次市畠敷町	三次市
高潮対策	—	—	—
浸透対策	吉野川	福山市駅家町	福山市

※部分完成を含む。

オ 成果指標による点検結果

「洪水・高潮による社会経済被害の最小化に向けた河川整備」については、適切な工事発注や工事工程の把握、災害復旧助成事業や河川激甚災害対策特別緊急事業等を活用した再度災害防止の推進、さらに「令和3年豪雨改良復旧プロジェクト」による事業の進捗状況の見える化等を行いながら計画的に事業を実施しているところであり、順調に進捗している。

「逃げ遅れゼロに向けた防災情報の提供」のうち、水害リスクラインの提供等については順調に進捗している一方、まるまち標識の設置に遅れが生じていることなどから、水害リスクの認知度について、計画の進捗に遅れが生じる状況となっている。

施策項目	目標・指標					
	項目	現状値 (R2)	目標値 (R7)	目標値 (R4)	実績 (R4)	進捗 状況
洪水・高潮による社会経済被害の最小化に向けた河川整備	洪水の氾濫 ^(※1) により床上浸水が想定される家屋数(ビジョン指標)	約18,000戸	約16,700戸	—	約17,000戸	順調
	要河川整備延長(KPI)	176.8km	147.8km	153.9km	153.8km	順調
逃げ遅れゼロに向けた防災情報の提供	避難の準備行動が出来る人の割合(ビジョン指標)	13.6%	50%	—	8.4%	R7確認
	水害・土砂災害リスクの認知度(KPI)	77%	100%	87%	70%	遅れ
	水害リスクラインの提供(水位計設置拡充+洪水予測の高度化)	—	61河川	—	2河川	順調
	中小河川の浸水想定区域図の作成 1st:水害リスク情報空白地帯の解消 2nd:情報提供の充実	—	100%	—	1st完了	順調
	まるまち標識の設置(まるごとまちごとハザードマップ)	3市町	23市町	—	3市町	遅れ
	河川出前講座 ^(※2)	10回/年	20回/年	—	110回/年	順調
マイ・タイムラインを作成している人の割合(KPI)	—	60%	—	13%	— (※3)	
水辺の魅力向上の推進	アダプト活動(ラブリバー)認定団体数	425団体	525団体	—	467団体	順調

(※1) 河川毎に計画規模(年超過確率1/10～1/100)の洪水を想定。

(※2) 令和4年度からは「ひろしま防災出前講座」として実施。

(※3) 当該KPIは、他局(危機管理監)の取組。

遅れの要因と対応

項目	要因	対応
水害リスクの認知度 まるまち標識の設置	水害リスクの認知度を向上させる取組の一つである「まるまち標識の設置」について、関係機関と標識の設置場所や表示内容の調整に時間を要し計画通り進捗しなかったこと、また、「県内で顕著な被害があった災害が発生していない期間が続き、県民の災害への意識が薄れている ^(※) 」ことなどが目標を達成できなかった要因と考えられる。	まるまち標識の設置については、関係機関の理解が得られるよう引き続き調整を進め、取組の推進を図るとともに、DXの活用についても検討を進める。 また、学校等での啓発を引き続き行うことや、「自宅の危険性について調べたくなるきっかけ」を提供することが必要との有識者の意見 ^(※) を踏まえ、引き続き標識の設置を進めるとともに、出前講座において3Dマップ等災害リスクに関心を持たせる教材を積極的に活用していく。

※「令和4年度防災・減災に関する県民意識調査」の結果に対する有識者の分析等による。

(3) スケジュール

—

(4) 予算（R5当初予算、R4補正予算）

120億円

(5) 今後の対応

「洪水・高潮による社会経済被害の最小化に向けた河川整備」については、引き続き、計画に掲げる目標・指標の達成に向け、事業実施状況の点検や適切な工程管理などを行いながら、着実な事業進捗を図る。

「逃げ遅れゼロに向けた防災情報の提供」については、計画期間内の目標を達成できるよう、有識者の意見も参考に、関係機関と連携しながら事業の進捗管理を行い、取組の推進を図る。

4 その他（関連情報等）

—

河川 二級河川手城川水系手城川 大規模河川改修事業(福山市)

背景・整備効果

二級河川手城川水系手城川は、昭和63年度から河川改修事業に着手しているが、近年たびたび浸水被害に見舞われており、平成30年7月豪雨においては、甚大な浸水被害が発生した。

県は浸水被害軽減に向け、排水機場の増強、下流域・中流域における護岸整備及び河道拡幅工事を進めており、この度令和元年度から実施している排水ポンプ増設工事(20m³/s)が完成し、既設排水ポンプ(30m³/s)との一体的な運用を令和5年4月1日より開始した。

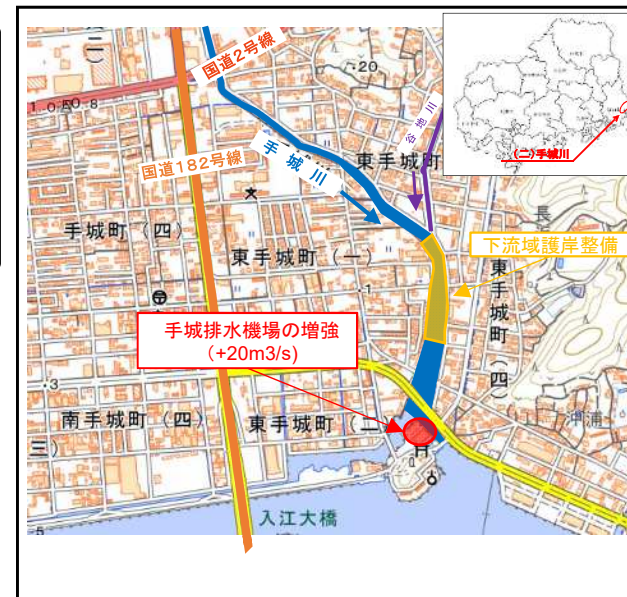
事業の概要

事業内容：排水機場のポンプ増設(30m³/s → 50m³/s)

完成時期：令和4年度

全体事業費：約17.8億円

進捗段階：完成



整備前(令和3年9月)

既設排水ポンプ
(30m³/s)



整備後(令和5年3月)

増設排水ポンプ
(+20m³/s)

河川 二級河川沼田川水系沼田川 河川激甚災害対策特別緊急事業(三原市)

背景・整備効果

平成30年7月豪雨により、二級河川沼田川流域では床上浸水2,137戸、床下浸水346戸の甚大な浸水被害が発生した。

このため、改良復旧(河川激甚災害対策特別緊急事業)により、築堤、河道掘削等を緊急的に実施することで流下能力を向上させ、同程度の洪水による家屋浸水被害の解消を図る。

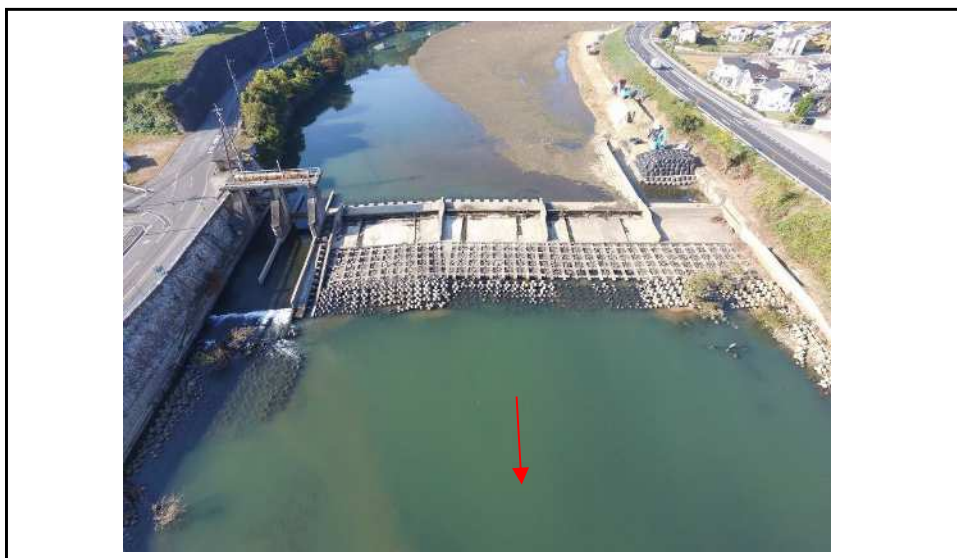
事業の概要

事業内容： 築堤・護岸の整備、河道掘削及び堰改築・撤去等による河積の確保

完成時期： 令和4年度

全体事業費： 約53億円 (沼田川、天井川、仏通寺川、梨和川、菅川)

進捗段階： 再度災害防止が完了



整備前(令和4年11月)



整備後(令和5年6月)